

平成 27 年度

## 熊本県文化協会協力会世話人会

日 時 平成27年6月16日（火） 13:00

場 所 熊本市中央区水道町 メルパルク熊本 会議室

### 会 次 第

1 開 会

2 熊本県文化協会協力会 会長 あいさつ

熊本県文化協会 会長 あいさつ

3 議 事

1) 平成26年度熊本県文化協会協力会事業報告ならびに収支決算（案）について

（監 査 報 告）

2) 平成27年度熊本県文化協会協力会事業計画ならびに収支予算（案）について

4 その他

## 第1号 議案

### 平成26年度 熊本県文化協会協力会事業報告

#### 1 第56回熊本県芸術文化祭

県内各地で 9月～12月まで 開催 ▽事業数 254事業  
(8月子ども芸術祭のみ) ▽総参加者数 208,410人

ポスター・プログラムの作成・配布

ポスター 1,400枚 プログラム 14,000枚  
〔デザイン 朝重創太(ともしげそうた)さん 佐賀県(2013熊日デザイン賞 課題ポスター部門 第一席)〕

#### 2 前夜祭

県文化懇話会51周年・県文化協会44周年・県文化協会協力会39周年  
記念大会

日時 平成26年9月10日(水) 18時～  
会場 熊本市上通町 ホテル日航熊本  
出席者 1000名

#### 3 第56回熊本県芸術文化祭オープニングステージ

「熊本能三昧」 ～伝統芸能の新たな楽しみ～

日時 平成26年9月19日(金)、20日(土)  
会場 熊本県立劇場 コンサートホールホワイエ、演劇ホール

熊本の「森(歴史)」をテーマに400年を越える歴史ある熊本の能楽を県民に広く紹介するため、  
熊本にゆかりのある若手能楽師らが、流派を超えて舞台製作、共演。

「新能」では、狂言『伯母ヶ酒(おばがさけ)』、能『猩々乱(しょうじょうみだれ)』が上演され、  
熊本能三昧「大江山」

#### 4 くまもと子ども芸術祭

次世代の担い手となる子ども達の文化環境を整え高めるため、  
子ども達を主体にした芸術祭を実施し、継続することによって、  
地域の芸術文化・くまもと文化を次世代への継続発展につなげぐ。

『くまもと子ども芸術祭2014 in 人吉』

日時 平成26年8月17日(日)  
※台風のため、予定していた8月8日(土)、10日(日)の開催を延期  
会場 人吉カルチャーパレス 出演者 413名 入場者 1,691名

(コンサプト:「700年の歴史に学び今を生きる!そして未来へ。」

相良700年の歴史と文化を題材として新たに作曲された「カンタータ」の舞台構成によるステージ、  
展示、伝統工芸体験など、人吉球磨を中心とした県内各地の子どもたちが主体になって実施。

☆ 「第56回熊本県芸術文化祭報告特集」は各団体の報告書をデータにし編纂したものを  
熊本県文化協会のホームページに公開 及び 保存用(1部印刷綴)

#### 5 参考

熊本県文化協会事業 (資料1・6ページ)  
熊本県文化懇話会事業 (資料1・6ページ)

## 第2号 議案

### 平成27年度 熊本県文化協会協力会 事業計画

#### 1 第57回熊本県芸術文化祭

県内各地で 9月～12月まで 開催

ポスター・プログラムの作成

ポスター 1,400枚 プログラム 14,000枚 〈予定〉

#### 2 前夜祭

県文化懇話会52周年・県文化協会45周年・県文化協会協力会40周年  
記念大会

日 時 平成27年9月9日(水) 18時～  
会 場 熊本市上通町 ホテル日航熊本

#### 3 第56回熊本県芸術文化祭オープニングステージ

～伝統芸能の新たな楽しみ～ 「熊本能三昧」

日 時 平成26年9月19日(土) 18時～・20日(日) 12時～  
会 場 熊本県立劇場 コンサートホールホワイエ・演劇 ホール

熊本の「森(歴史)」をテーマに400年を越える歴史ある熊本の能楽を県民に広く紹介するため、  
熊本にゆかりのある若手能楽師を中心に、流派を超えて舞台製作上演する。

#### 4 くまもと子ども芸術祭

次世代の担い手となる子ども達の文化環境を整え高めるため、  
子ども達を主体にした芸術祭を実施し、継続することによって、  
地域の芸術文化・くまもと文化を次世代へつないでいく。

『くまもと子ども芸術祭2015 in 菊地』

日 時 平成26年8月9日(土)・10日(日)  
〈ステージ:10日13時～、展示:9日13時～10日10時～、体験:10時～〉  
会 場 人吉市カルチャーパレス 人吉スポーツパレス

(コンサプト:「七百年の歴史に学び今を生きる!そして未来へ」)

根底には、いつまでも変化しない、本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重  
ねているものを取り入れていくという、不易と流行という考え方がある。古から地域  
の人々が誇りにして、変わらず受け継いできた伝統文化を学び継承していく。

☆「芸術文化祭報告特集」は各団体の報告書をデータ(USB)にし編纂〔保存用1部印刷綴〕

#### 5 参考

熊本県文化協会事業 (資料3 8A-ジ)

熊本県文化懇話会事業 (資料3 8A-ジ)